

コモンス

Commons

2021.10.20 第155号

コモンスとは…労働者農民市民が協働して、
国家と私を超えた自治と生産の共同の場を、
共につくり合うこと

発行所/コモンス

編集機関紙局/東京都中野区新井2-7-12-25号
コモンス政策研究機構内
電話:03-3389-0411 Fax:03-3389-8573
編集/革命21
The Communist Association for Revolution Movement 21
郵便振替口座/1部500円 半年2500円(1年5000円)
郵便振替口座/00100-5-391171(コモンス政策研究機構)
ウェブページ:http://www.com21.jp
Eメール:rev@com21.jp

衝撃! 連帯労組・関生支部

第57回大会・緊急報告

「関生」を名乗る資格のない者が乗っ取る事態

【武建一氏「声明」より引用】



有志多数が駆けつけ

緊急の集り聞く 10/10

10月10日、連帯労組関生支部大会での今回の成り行きに憂慮する同支部労組OBを初めとする関係者が、大阪市東淀川区協同会館アソシエに集まった。この歴で同日朝の支部大会の詳しい状況が武氏本人から語られた。(続報次第)

コモンス編集部より告知

■コモンス10月号校了間際、連帯労組・関生支部第57回定期大会で、武建一委員長が大会会場から排除されたとの衝撃的なニュースとともに、武氏の「声明」と大会場で配布されたという「委員長挨拶」文書を受け取りました。緊急、武建一氏に、事の真相―「大会で何が起ったのか」の緊急インタビューを申し入れ、10月号紙面と発行日を変更し、ここに「声明」・「委員長挨拶」文書を紹介する次第です。※なお、緊急インタビューは3面を参照ください。現在、総選挙の真っ只中にあります。武建一氏もインタビューの中で触れておられるように、私たちはこの資本・権力による「関生解体攻撃」を自公政権打倒のために力を合わせ闘う味方の勢力の分断や混乱に転嫁しようとするような企みや攻撃にも組みみません。当面の焦眉の課題である総選挙において、野党共闘の勝利のために闘うことを宣言します。「コモンス編集部紙局」10月17日・発信

下記の声明は、10月10日朝の関生支部定期大会での異常事態を受け駆けつけた有志集まりの会場で配布された武建一氏文書である。「一組員として関生再生に奮闘します」と題された同氏決意表明の全文を掲載する。

声明

一組員として関生再生に奮闘します

私は、本年10月10日、第57回定期大会に於いて、関西地区生コン支部の執行委員長を辞任致しました。権力による弾圧の怖さは、強権的・暴力的な逮捕や投獄にのみあるものではありません。内部から腐敗させ、立ち腐らせる、そこに権力の怖さがあります。残念ながら関生生コン支部も例外ではありませんでした。

今、関生支部は「関生を語る資格のない者が関生を乗っ取っている」事態が進行しています。その経過と結果については、10月10日、私が退陣を表明した「委員長挨拶」で述べたので、ここでは繰り返しません。

(「関生支部第57回 委員長挨拶」参照)

ただただ、自分自身の至らざるを猛省し、関生支部を支えていただいている多くの皆様に心からお詫びしなければなりません。このことをバネに、関生再生をあらためてここに誓うものです。

関生支部に起こっている問題の本質は、第1に我々に対する大弾圧・大規模な不当労働行為による関生支部解体攻撃、第2は国家権力・資本の右派分子の取り込みとこれをテコとした組合への組織介入、第3にそれによりストライキの否定や産別労働運動路線の変更と組合の変質と屈服の画策にあります。

こうした事態が進行するならば、日本に於ける産業別労働組合運動が消滅し、日本の原則的階級的労働運動が大きく後退し、大資本の取奪にあえぐ中小企業と労働組合との協働による日本の産業構造の民主化運動が挫折に追い込まれるは必至です。

また全国に広がっている弾圧反対、関生支援の運動の瓦解につながることを恐れます。私は関生の階級的な産別労働運動を潰すことを許しません。敵に屈服して奴隷の道歩むことを拒否します。

56年間の関生支部の闘いの中で、志半ばで倒れた多くの同志がいます。私とともにこれからのいばらの道を行ってくださるたくさんの同志がいます。これから同志とともに全ての役職を受けることなく、一労働者、一組員として、産別労働運動の志を高く掲げ、関生再生のため、関生労働運動の闘いを最初の一步から歩み直します。全力を尽くすことをここに誓います。

2021年10月10日
武建一(連帯労組関西生コン支部前委員長)
連絡先 〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31
協同会館・アソシエ 3F
Tel 06-6326-5500



217選挙区で5野党統一候補擁立

衆院選に臨んで

「安倍政治」もろともに

岸田自公政権打倒へ!!

総選挙が19日公示され、10月31日投票期に向けた熾烈な選挙戦に入った。このまま「安倍政治」継承の自公政権を続けるのか、市民・野党共闘の勝利で政権交代し、新しい一歩を踏み出すのか。政権選択が問われる選挙である。

コロナ禍で貧困・格差を拡大して人々の命と暮らしを切り捨て、森・加計・サクラにみる国政の私物化、沖縄の民意を無視し辺野古新基地建設を強行し、強権で民主主義・人権を蹂躪して政治を荒廃させ、拳句の果てに米政権に隸従し日米安保・戦争同盟強化の下で米対中戦争に参戦するための「敵基地攻撃能力」の保有や南西諸島軍事要塞化、自衛隊明記の9条改憲を画策してきた「安倍政治」の悪行の数々。

岸田新政権はこれを反省し改めるところか、受け継ぐ姿勢を鮮明にした。今般総選挙は、「安倍政治」もろともに岸田自公政権を打倒し、日本を変える、その始まりを掴むチャンスである。決めるのは主権者たる私たちが。ポストコロナへの希望の未来を見つめ、一票を行使しよう!

「未来選択選挙」―時代が求める真の争点とは

対米隷従の「この国のあり方」を変えることだ。今般選挙は臨む岸田首相は「未来選択選挙」を言った。その米軍撤退に見た「アメリカの時代が終わる」な、時、義も成長と分配の好循環を本質とする「アベノミクス」の既成直しの化の皮がはがれ、気候危機の脅威の石炭火力発電からの撤退をめぐり、9件の新増設を認め、また

「ジェンダー平等、核兵器禁止条約」を掲げる姿が露呈されている。重要なのは岸田首相が「アベノミクス」を継承して協賛し、米国の日本防衛義務を定め日米安保条約の5条の尖閣諸島への適用について、バイデンから「力強い」発言を取り付けると自衛し、その代りに日米同盟強化約束し、バイデン米政権のアジア・インド太平洋における中国との覇権争奪・対中戦で協力の姿勢を堅持したとある。つまり、安倍・菅政権がコロナ禍で人々が生活の危機に苦しむ中で着々と進めてきた台湾有事に備える中国を対決込み、その米本土に向けては出陣を阻止する防

野党統一候補に投票を集中しよう!

今般選挙を市民連合の間で、安倍法制・戦争法の廃止、憲法堅持、辺野古新基地反対、消費税減税、原発のない脱原発社会、ジェンダー平等など重要課題の「共通政策」の合意の上で、定数1を争う全国217選挙区のうち17選挙区において、5野党統一候補の擁立が実現した。大きな前進である。私達は「安倍政治」を継承する岸田自公政権を打倒するため、この野党・市民統一候補の実現を心から支持する。もちろん、旧民主進系山政権打倒の根底に日米安保の厚い壁があった経験も踏まえて、野党共闘の中軸となる立憲民主党が日米安保・軍

あり方、歴代自公政権の対米隷従の根本にあり、平和憲法の上に超法規的に存在する日米安保条約廃棄の課題その条件が成熟しつつあることを教えている。沖縄の基地問題、米海兵隊・在日米軍駐留のやり放題の解決のためにも、戦争の道進む自公政権の対米隷従の政治や社会のあり方を変えるために、コロナの社会理想を持った政治・社会勢力が形成されない限り、この国あり方を変える根本的な防衛の風雲は開けないことを自覚している。わたしたちは、そのことを急務としながらも、オール沖縄の闘いととも、この野党と市民の兵の発展のために全力を挙げたい。

安倍政治に終止符を打ち、政権交代のチャンスをつかみ、投票権行使し、岸田自公政権打倒し、希望の未来への一歩となる政権交代への道を開こう!

【編集部解説】一面掲載の武建一氏「真相」で触れられている 関生支部第57回 委員長挨拶」の全文を紹介する。A4サイズ計5枚で綴られた同氏の思いのこもったものであるが、大会では3面1タビユーのように挨拶中途で制止を受け、会場から排除され参加者には内容全くを伝え切ることが出来なかったものである。

関生支部第57回 定期大会

委員長挨拶

2021年10月10日
執行委員長 武建一

関生支部第57回大会に出席された皆様、大会には出席できなかった組合員家族の皆様、皆様の目線の御苦勞と奮闘、ご協力に敬意と感謝を申し上げます。

そして関生支部に共に闘う立場の全員の仲間の皆様のご支援・ご協力、心よりの御礼と感謝を申し上げます。

本大会は、関生支部56年の歴史の中で、かつて経験した

ことが、このような事態の中で開催されています。

本大会開催の新たな経路に繋がるか、それともあらゆる手段を講じて、敵の道を通すか、が問われる大会です。

今、関生支部は、関生を語る資格のない者が関生のことについて、勝手に進んでいく中で、表現出来たものです。

保釈後、急いで解決を迫られたことは以下の通りです。

- ① 幹部3人、副委員長、書記長、財政部長によるあるまじき行状は、真実的には特権乱用であり、自分には協力的な人を専断して、幹部の息子を定めた仕事に付けたらしていいよ。
- ② 副委員長が前任に組合員の子供を本拠する約束があったのに、約束があった。無かったと偽って、私に、副委員長自らその本人と直接会って合意を取り付ける事を求めたが、それをしなかったから、組合員が不満と怒り、その副委員長の自ら訪問するという事態になりました。

またこの支部財政の不足金を生コン会館を売却することで埋めようとした。

- ③ 支部財政について、弾圧にこの組合員は10分の1まで減少し、収入は月100万円程なのに月1500万円の金が必要とて浪費されています。
- ④ 東淀川の闘いの地点であった職場の株代表権が闘いの実績も無いに譲渡されています。
- ⑤ このことにより、いとも簡単に会社が譲渡を受けた人によって乗っ取られ、荷主側へ乗っ取られ、財産を失っています。

これは神の社長と獄中に居た私の反対を押し切って実行されました。これは許されず、反対意見を押し付けるのに弁護士の確認書を利用していたが、この確認書は全く有効性の無いものであった。

昨年大会終了後の突然の「決意書」突き付け - 委員長を辱るに似る文書

昨年10月18日の大会当日、終後のクオーターで、大会の終了後、突然20名の執行委員による決意書が突き付けられました。この「決意書」に署名を押し、その場に提供していたことを、後になって私は知りませんでした。

この決意書には、「今後組織運営については、委員長を除く常任をはじめ執行部の集団指導体制の運営を行います」というものがあります。この決意書は、私に突き付けられたもので、私はこれを拒否しました。

ストライキの否定

今（10月）は、10月12日のストライキについて、副委員長は反対したが委員長が独断で進んで行った。責任を委員長に転嫁していることで、三役同意のうえ執行委員会大会で決定したことを覆すつもりです。

労働条件改善への妥協の前触れ

今（10月）は、以前、日経連大槻文平会長は、関生支部が実現してきた解決金に対して「ストライキとして多額の金要求あり、それは許せないと主張しました。」

私腹を肥やす幹部の真相究明せよ

8月11日の執行委員会でこのことが議論になり、「真相究明委員会 設置提案」の決議がなされた。だが、副委員長自身が真相究明を拒否している。

手も打たない。これでは闘っていない敵である相手の手内に幹部が入っているのと同様です。

その後、妨害をはじめ、どのようなことが起きたのか。

この様に、私は幹部の活動やあり方の改善を求め、事態打開のための新プラットフォームを提案し、幹部一同一致して方針として実現するために先頭に立って実行するようになった。その時、理由不明な反対理由を出して、私の活動を妨害するようになった。

このように組織に重大な損害を与えることは、あつた。限られた針ののりも自分達だけで進んでいく中で、表現出来たものです。

これは甚だ機関運営は言えない。今（10月）は、対内的、対外的には委員長の名を使用し、委員長の解任行動している。

これは「毒を食えば血まで」悪に陥まると常識力もなくなると例です。

最後に、私は56年間指導部について、この様な幹部しか育てる事が出来なかった事を心より恥じています。

私は、支部結成以来56年の闘いの歴史を語り、先輩たちが血を流して築いてきた関生階級の差別別行動運動を潰すことを許しません。

「台湾有事で日本を戦場にしてはならない」

沖縄意見広告運動 6/13オンライン集会

伊波洋一参議院議員 基調講演より【連載②】



日米軍産の戦時シフトで、沖縄が真っ先に犠牲になる!



2014年 翁長知事(オール沖縄)が約10万票差で圧勝



2016年12月 名護市安部沿岸にオスプレイ機が墜落、大破した

5千名を超える辺野古浜での結集から

最初に皆さんと辺野古を取り組んでいた頃には、ヘル基地反対会を中心に千名を超えない集会でしたが、94年から5千名、あるいは5千名という集集が持つようになった。これは何よりも、本来を拓く島ぐるみ会議の結成が大きい。そしてそれがオール沖縄会議へと続き、5千名を超え、辺野古浜での結集の実現へと繋がったのである。

そういう意味で、私たちは県民自らの団結は強くなってきた。このように言えるのだと思っております。

オスプレイ墜落と2017年工事始まる

年10月13日に知事として承認を取りました。その瞬間においても多くの県民の支持を得ながら闘い抜けてきた。このように思っております。

2017年の初めから、12月には護国市沿岸にオスプレイが墜落をしまして、このことが本場に毎日毎日、今でもそうだけれども、ずっと続いているのが沖縄なのです。

2017年の初めから、埋め立て工事の準備が始まり、いよいよフロートが設置されて行きました。

「諦めない、命の海を壊すな」2018年

2018年、沖縄意見広告運動が「諦めない、命の海を壊すな」という意図を持って、ちょうどこの頃に辺野古側の海に、埋め立てのための突堤を造っています。

そういう中で、護国市着手に対して抗議をした。そしてまたシュワフゲート前での4、8県民大会を行って来たわけです。

そして、これは後の話ですが、現在の護国市市長選挙で、当時官房長官であった、辺野古について19年前に日米合意をしたと、これはSACO合意の出来事ですね。

それから16年前に無知事と名護市長も(合意)と云っているわけですが、これはあくまで海上軍民共用、あるいは15年使用期限、岸本市長の場合、この条件を含めて、そういう意味で合意をしているわけでありまして、私たちが今回、意見広告でも言っているように、青いものを身に付けて、ブルーアクション写真を撮って、そして拡散を

台湾有事で犠牲になる沖縄の未来

①沖縄の海兵隊を Guam に移す米国防略 ②北朝鮮や中国のミサイルが短く、開閉の沖縄 ③2025年にかけて Guam に4千名が移転 ④普天間海兵隊基地も Guam に行くのが当然 ⑤残りもワイに移り沖縄に理由はない ⑥基地被害110番2020年度に759回 ⑦辺野古埋立工事に遺骨の眠る土を使わせまい ⑧基地を造るのは米軍の米軍基地を強化 ⑨離島奪還の訓練を繰り返している ⑩高江伊江島など多 ⑪日本を拠点しながら中国と戦争をする気 ⑫中国との戦争のため飛行場が必要 ⑬宮古島、石垣島ミサイル部隊が対中戦争を ⑭米中のハイパースピードミサイル競争 ⑮重要地法は沖縄有人 ⑯重要地法は沖縄有人 ⑰重要地法は沖縄有人 ⑱重要地法は沖縄有人

言っているのが菅総理なのですね。

そういうことで、結果的にこの写真のように(資料写真をかきす)、グリーンエリアが制限区域で、赤いエリアが埋め立てられているエリアとなっていて、こういう形で現実には進んでいるわけです。

その中で、普天間にはない埋立が付くということになりました。私たちが思っている状況に対して、やはり政府はあくまで基地を押し付けていく、こういうことが繰り返されてきた

と、こういう風に言っています。

本場に辺野古、あるいは大浦湾は、5千以上の海洋生物が生息する、素晴らしい海洋環境なんです。それが政府は壊そうとしている。現に壊しているというのが現状です。

これは福知山市が誕生した後の名護市が作ったパンフレットからの資料ですが(資料写真をかきす)、シュワフと亀が一緒に大浦湾で、それから大浦湾の様々なサンゴの状況。このように、シュワフもあ

特に軟弱地盤の中にも、矢印で「N値ゼロ」という表現がありますが、「N値ゼロ」というのは、実はその地盤に何か重い物を置くと、スプーンで沈んで行くという地盤です。そういう地盤が20m30mと続いている。そこを埋め立てて飛行場を造るというわけですが、本場にこんな地盤が

ま、デーン知事は反対をしてお下すと思いが、政府は裁判等で色んな手を使っていますね。

しかし、これを埋め立てることで、それが問題だというのが、技術者や学者の意見なんです。安倍政権もそうでしたが、使えないかもしれないのに造ろうとしているの、無視をして工事を進めている、というのが今の状況です。

これはQAB琉球朝日放送の映像ですが、拡がりも大きい。単にそこにあるだけじゃなくて、多くのエリアで軟弱地盤が続いているんです。

ですから、いかにも困難あるいは無難なことをやっているかというところが、明らかになっているので、しかし、あくまでそれを無視して工事を進めている、というのが今の状況です。

私は外交防衛委員会に居りますので、この細かい話をまとめて委員会で議論してまいります。政府は本場に答えられないんです。(答へ続く)



嘉手納基地を埋めたPFAS泡

米軍、PFASで沖縄の水と魚を汚染

今回は陸軍で流出 米軍専門家の警告

6月10日、PFAS(有機フッ素化合物)を含む100リットルの汚染液がうるま市米陸軍貯油施設から漏れて放出された。

琉球新報は事件の詳細を米軍に問い合わせたが、何の反応もない。

日本政府は米軍基地からの有毒な流出が繰り返されるのを、沖縄の人の健康と安全について気にしていないことを繰り返し美証してきた。

2021年初頭沖縄県は基地外の地下水にはPFAS3000ppbが検出されていると報告した。地下水は表面から海に流れ込む。

この物質はたまた消えてなくなるわけではない。

それは基地から抜け出したPFASはNY州ロングアイランドの3分の1の大きさの有毒な流出が繰り返されるのを、沖縄の人の健康と安全について気にしていないことを繰り返し美証してきた。

2013年、嘉手納基地での別の事故では、開いた板倉から30リットルの汚染液が排水管に繋がった。そして沖縄の人々は二級国民扱いである。

玉城知事応援のブルーアクションを

工費はやがて1兆円を超えるというので政府は出していますが、本場を「超えないように見せよう」というのが、政府は

「諦めない、命の海を壊すな」2018年

2018年、沖縄意見広告運動が「諦めない、命の海を壊すな」という意図を持って、ちょうどこの頃に辺野古側の海に、埋め立てのための突堤を造っています。

そういう中で、護国市着手に対して抗議をした。そしてまたシュワフゲート前での4、8県民大会を行って来たわけです。

そして、これは後の話ですが、現在の護国市市長選挙で、当時官房長官であった、辺野古について19年前に日米合意をしたと、これはSACO合意の出来事ですね。

それから16年前に無知事と名護市長も(合意)と云っているわけですが、これはあくまで海上軍民共用、あるいは15年使用期限、岸本市長の場合、この条件を含めて、そういう意味で合意をしているわけでありまして、私たちが今回、意見広告でも言っているように、青いものを身に付けて、ブルーアクション写真を撮って、そして拡散を

伝説の写真家の魂…映画『MINAMATA—ミナマタ—』

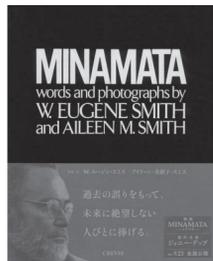


水俣病を描く 覚悟と熱意

日本の水俣病取材し世界にその存在を知らせた写真集『MINAMATA』。米国人写真家W・ユージン・スミスが主人公に、水俣病患者とその家族を描いた映画『MINAMATA—ミナマタ—』が公開中だ。



▲水俣のピエタ



▲『写真集 MINAMATA』は9月にクレヴィスから再刊

熊本県水俣市のチソン工場が出す廃水が原因の「水俣病」が、国四大公害病の一つ水俣病。それを真正面から描いた本作はユージンと彼の妻アイリーン・美穂子・スミスが1975年に発表した写真集『MINAMATA』を原案にする。

この事件でスミスは患者さんたちの怒りや苦しみを、悔しさを自分のものとして感じられる水俣病患者に、一層分け入り入浴する母子と母の現代の聖母子像と名付けられた一枚の、しかし公書という原罪の底無しさ二人の業を託し込んだ20世紀最高の写真世に問うた。

この四肢に取り込んだ胎児、水俣病患者、母さん、その無垢な笑顔の少女を、まるで死にゆくリスト（ピエタ）を沐浴させるかのようにかき抱く母。CREVISから再刊された『MINAMATA』写真集本文に「スミスはこう記す。

世界史で忘れてはならない9月11日：最近では2001年NYなどへのハイジャックテロ事件があるが、その18年前に第一のハイジャックなどなく、民主選挙で選ばれた政権をCIA米軍が丸ごと略奪転覆させた歴史的事件を忘れてはならない。

- 三光堂書店 伊勢崎市大幸町2の15
●ウツタ書店 名古屋市中区今池1の6
●丸善書店 美濃加茂市田町235の1
●書泉クワンテ 千代田区神田保町1の3
●丸善書店 高松市島島町2の109
●模索舎 新潟県新潟市2の4の9
●金橋堂 福岡中央区豊香江2の2の7
●豊川カルミア店 豊橋市花田町西無番地
●豊橋ステーションビルカルミア 0532652810

大阪労働学校・アソシエ 2021 「協同組合講座」後期がスタート



津田直則講師

ESSOPの革命性！ 株式会社を労働者協同組合に転換する戦略

ESSOPの革命性！ 株式会社を労働者協同組合に転換する戦略。津田直則講師による「協同組合講座」後期がスタート。本学の協同組合講座は津田直則講師による10期に4回にわたりオンラインで開催されました。

このESSOPは、株式会社の外部のトラストによって運営されています。また、その運営には多くの専門家が大きなコストがかかります。そこでトラストを会社の内部に内部化して、その株主を内部留保する方式が研究されています。

もう一つの9・11/南米の悪夢の歴史に介入する CIA米国の所業

もう一つの9・11/南米の悪夢の歴史に介入するCIA米国の所業。1日で虐殺された。その後米軍を後ろ盾にするビンチェトの圧政で1000万人の民が虐殺、拷問、命を失った。凄まじい日々が到来した。

「モモンズ取扱店」 乱鬼龍。総選挙 もう世直し 待たせ 権力が 悪者を面を 競い合い 自民党 岸田の先は 崖っぷち ホストコロナ ホスト資本主義 秋深む 温暖化 この警告が 聞こえぬか

無産階級労働者が会社を所有する「所有革命」

無産階級労働者が会社を所有する「所有革命」。このESSOPは、株式会社の外部のトラストによって運営されています。また、その運営には多くの専門家が大きなコストがかかります。

編集室から。史上初めて女性が連合の会長に就任した。どうか五輪組織委のようにはならないでほしい。見栄えを良くし批判をかかわすための形式的な女性の登用は本質を何も理解していない。